

2020年4月28日  
ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2020年4月21日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先いたします。

## ギリアド・サイエンシズ、カイト社、oNKO-innate 社 NK 細胞に焦点を当てた新規がん免疫療法創薬で提携を発表 —新たながん免疫療法および細胞療法の発見・開発に向け、 oNKO-innate 社の NK 細胞・腫瘍生物学における高度な専門性を活用—

ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）とその子会社であるカイト社（以下「カイト」）、および oNKO-innate 社（本社：豪州ビクトリア州メルボルン、以下「oNKO-innate」）は4月21日、ナチュラルキラー（NK）細胞に焦点を当てた次世代医薬品および遺伝子改変細胞療法の発見・開発に向け、がん免疫療法の3年間にわたる共同研究契約を締結したと発表しました。

現在のがん免疫療法は主に、チェックポイント阻害やキメラ抗原受容体（CAR）T細胞療法など、T細胞を介した抗腫瘍免疫に焦点を当てたアプローチです。一方、T細胞と同じくリンパ球（白血球）の一種であるNK細胞は、免疫系で監視役およびエフェクターという重要な機能を担っています。NK細胞とT細胞は、どちらも腫瘍細胞に対する攻撃能力を有していますが、腫瘍細胞を死滅させるメカニズムがそれぞれ異なります。そのため、NK細胞を適切に活性化・標的特異化できれば、T細胞を介した抗腫瘍アプローチを補完し、さらには相乗効果も発揮し得る、新たな抗腫瘍アプローチとなる可能性があります。

ギリアドの研究部門エグゼクティブ・バイス・プレジデントのウィリアム・リー（William A. Lee, PhD）は、「ギリアドは、がん免疫療法にとって非常に有望な新領域をリードする oNKO-innate との提携を嬉しく思っています。私たちの戦略の主眼は、がん免疫療法での専門性とパイプラインのどちらも成長させることです。患者さんのための新たながん治療法の発見・開発に取り組むなかで、この素晴らしい提携がどちらの目標に対しても私たちを後押しするものになると確信しています。」と述べています。

カイトの研究部門シニア・バイス・プレジデントのピーター・エムタージ（Peter Emtage, PhD）は、「カイトはがん患者さんのニーズに答えるべく、細胞療法領域での揺るぎないリーダーシップを構築しようと全力で取り組んでいます。適合移植されたNK細胞を用いた初期臨床データは有望なものでした。この分野での私たちの能力を科学的に向上させ、また新たなNK細胞療法を同定して臨床開発の前進に貢献する機会を得たことを喜ばしく思っています。」と述べています。

oNKO-innate の共同創設者でチーフ・エグゼクティブ・オフィサーであるジャイ・ラウテラ (Jai Rautela, PhD) は、「私たちは 20 年以上にわたって、NK 細胞生物学領域での学術的な専門知識を積み重ねてきており、NK 細胞ががん免疫療法で役割を果たす可能性がある、かねてから信じていました。私たちの NK 細胞の専門知識と独自のスクリーニング技術を、ギリアドおよびカイトとの共同研究で活用することで、患者さんのために新たな治療法を発見するという共通目標に向け貢献できることを楽しみにしています。」と述べています。

この提携を通じ、oNKO-innate は全ゲノムスクリーニング技術と独自の技術プラットフォームを用いて、NK 細胞の抗腫瘍免疫を強化し、新たな NK 細胞療法につながる、これまでにない免疫細胞標的の発見を目指します。oNKO-innate は、ギリアドに対してはゲノムスクリーニングを担当し、ギリアドが進めるがん免疫創薬プログラムの研究シーズとなる治療標的の同定と検証を実施します。カイトに対しては、次世代細胞療法の開発のため、NK 細胞構造体を作製、評価します。

本契約の条件に基づき、oNKO-innate には前払い金が支払われ、その後、臨床試験、薬事承認、製品化といった既定のマイルストーンの達成に応じて成功報酬が支払われます。さらに、がん免疫療法と細胞療法の両プログラムの販売ロイヤリティに基づく追加報酬を受ける権利を有します。

### **oNKO-innate について**

oNKO-innate は、シーズ創出段階を担うバイオテクノロジー企業であり、専門は治療標的の同定およびがん免疫療法薬の非臨床開発です。NK 細胞に対する高度な専門性を有し、白血球のがん攻撃能を増強するため、NK 細胞を初めて実際に治療に応用することを目指しています。詳細は oNKO-innate 社ウェブサイト ([www.onko-innate.com](http://www.onko-innate.com)) をご参照ください。

### **カイトについて**

ギリアドの子会社であるカイトは、カリフォルニア州サンタモニカを拠点とするバイオファーマ企業です。革新的ながん免疫療法の開発を行っており、特にキメラ抗原受容体 (CAR) および T 細胞受容体遺伝子改変細胞療法に注力しています。詳細はカイト社ウェブサイト ([www.kitepharma.com](http://www.kitepharma.com)) をご参照ください。

### **ギリアド・サイエンシズについて**

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 カ国以上で事業を行っています。詳細は当社ウェブサイト ([www.gilead.com](http://www.gilead.com)) をご参照ください。

### **将来予想に関する記述**

本プレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) で定義される「将来予測に関する記述」に該当するものが含まれており、ギリアドおよびカイトが、今回の oNKO-innate との提携、あるいはがん免疫療法または細胞療法へのその他の投資で期待される便益をもたらすことができな

いリスクを含め、いくつかのリスク、不確定要素、その他の要因により影響を受けることがあります。過去の事実以外のすべての記述は、将来予想に関する記述とみなすことができます。これらのリスクや不確定要素、その他の要因により、実際の結果が「将来予想に関する記述」と著しく異なったものとなる可能性があります。将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。これらのリスクやその他のリスクについては、米国証券取引委員会に提出している、2019年12月31日を年度末とするギリアド年次報告書（フォーム10-K）で詳細に説明しています。将来予想に関する記述はすべて、ギリアドおよびカイトが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドおよびカイトは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。

###